



新潟市立山田小学校

コミュニティ・スクール通信

令和7年11月 第2号発行



コミュニティ・スクール（CS）＝学校運営協議会制度

学校運営協議会制度とは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら、未来を担う子どもの豊かな成長を「地域総がかり」で支える仕組みです。

コミュニティ・スクールでは、学校運営協議会を設置し、学校運営の基本方針を共有し、学校運営や子どもに必要な支援について、地域と学校が一体となって話し合いを行います。

令和7年度 第2回学校運営協議会が開催されました

10月29日(水)、山田小学校地域ボランティア室において、第2回学校運営協議会が開催されました。学校運営協議委員の皆様からご出席いただき、前期の山田小学校の活動や、子どもたちの様子についてお伝えし、ご意見をいただきました。協議会の前には、絵画作品展と5時間目の学習の様子を参観していただきました。



1 学校より

(1) 前期児童、保護者、職員アンケートについて
(教務主任)

(2) 各推進委員会の前期評価報告 (各主任)

(3) 次年度に向けた学校運営の基本方針への要望
(意見交換)

(4) 『今、山田小の子どもたちにつけたい力』 ※グループワーク



2 協議

グループワークの様子やご意見などをお伝えします。

『今、山田小の子どもたちにつけたい力』をテーマに、2グループに分かれ、意見を出し合っていました。どちらのグループも時間が足りなくなるほど活発に意見交換が行われました。

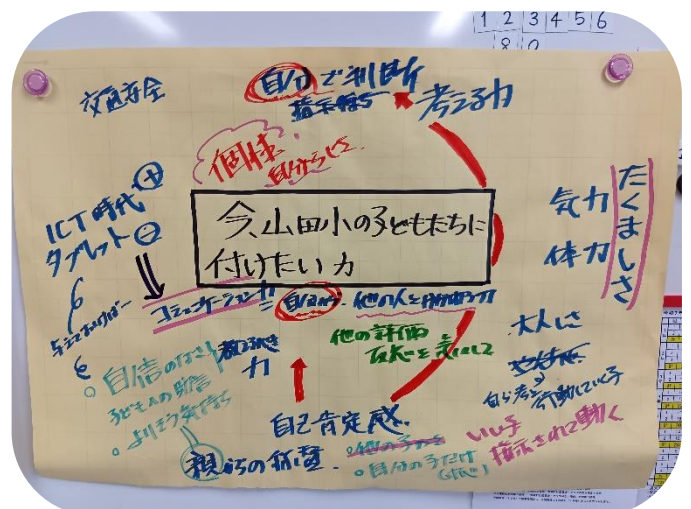
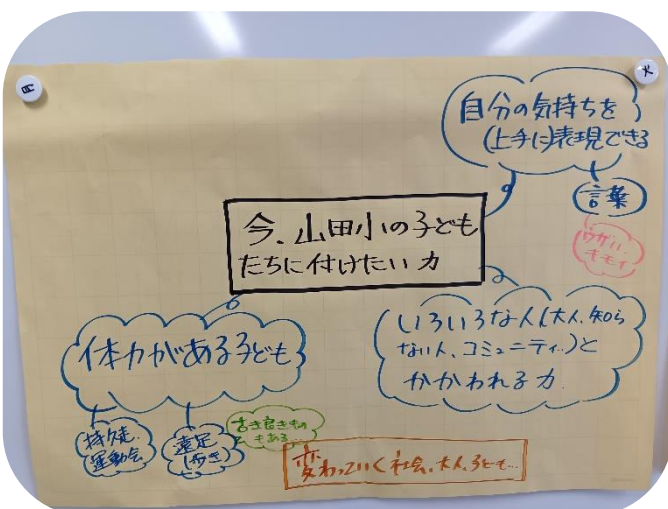
Aグループ

- ・ 自分の気持ちを表現する力
表現が苦手な子どももいるが、少しずつでも表現できるように、できている子はさらに分かりやすく表現できるとよい。言葉を大切にしてほしい。
- ・ 色々な人やコミュニティ(地域)とかかわる力
- ・ 様々な活動の土台となる体力



Bグループ

- ・ 自分で判断したり考えたりする力
指示待ちをする傾向があるように感じる。
- ・ 自分から人とかかわったり考えを表現する力
- ・ 体力、気力などたくましさ
- ・ 自信をもって自分たちのやりたいことを進めていく力
まわりの大人が、子どもたちの自己肯定感を高めるようなかかわりをしていく必要もあるのではないか。



どちらのグループからも、子どもたち自身が積極的に表現したり、行動したりする力をつけてほしいこと、様々な人や地域とのかかわりを大切にしてほしいこと、体力をつけてほしいことなどの意見がありました。また、教育目標や防災教育にかかわる話もありました。学校内でも共有し、次年度へとつなげていきたいと思えます。